

長浜市・湖北地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

9月1日(火)～2日(水)に、長浜市・湖北地域を訪問させていただいた夏の宿泊研修には、学生 20 名（滋賀医科大学医学科第 1～4 学年 11 名、看護学科第 1 学年 3 名、滋賀県立大学 1 年生 6 名）が参加しました。

【1 日目】

・長浜赤十字病院にて研修

1 日目の午前中は二班に分かれて、湖北地域の中核病院である長浜赤十字病院を訪問しました。

楠井院長から地域の特性や歴史、病院の概要などお話をいただきました。災害医療、精神科医療、救急医療、周産期医療の 4 つの医療に特化した取り組みについて、また、病気だけではなく人をみていく精神理念などについてもお話をいただきました。

その後、ヘリポートや手術室、救急センターなどの施設を見学させていただきました。

1 階の総合受付には防災グッズが展示されており、段ボールベッドを体験させていただきました。

最後に、医学科と看護学科と分かれ、医学科は初期研修医の 1 年間のスケジュールなど、看護学科は入職後の教育体制について研修医の先生方、看護師の方からそれぞれにお話を伺うことができました。



・市立長浜病院にて研修

もう一つの班は、市立長浜病院を訪問しました。

冒頭に高折病院長からご挨拶があり、市立長浜病院の歴史や、病院の特徴でもある地域がん診療連携拠点病院の役割についてお話をいただきました。

その後、医学生と看護学生に分かれ、医学生については研修医室、スタッフステーション、人工透析センター、オペ室など様々な施設を見学させていただきました。施設見学の後には、学生と研修医の先生との対談に移り、学生時代の話や研修医になってからの話など、ざっくばらんに交流をさせていただきました。



・ 地域散策

1 日目の午後からは木之本町にある木之本地蔵院を参拝しました。

古くから眼の仏として信仰を集められたお寺で、眼を患った人の身代わりに片目を閉じたカエルが棲むと言い伝えられ、境内のいたるところに「身代わり蛙」というカエルのお守りが奉納されていました。

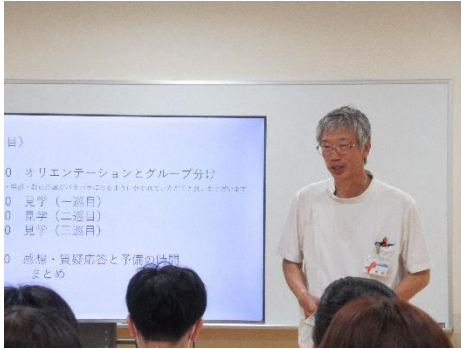


- ・長浜市立湖北病院にて研修

1 日目の最後は、滋賀県で一番北に位置する湖北病院を訪問しました。

東野副院長から病院の概要についてお話いただいた後、3グループに分かれて外来や病棟を見学させていただきました。介護老人保健施設サービスステーションでは『介護保険』、療養病棟では『医療保険』などと、保険適用の違いなどについてもお話いただきました。

また、最後に、内科部長の久田先生から地域医療実習や、出張診療・在宅診療などについてお話いただきました。



• 交流会

夕方は、グランパレー京岩において交流会を開催しました。

第1部では、長浜市 荻田洋介副市長から「長浜市の地域医療を考える～国民健康保険診療施設等に関する今後の方向性を中心に～」と題し、ご講演いただきました。

へき地医療の確保、持続可能な医療体制の構築、地域包括ケアシステムの推進などについて、それぞれの地域にあった機能の必要性や、限られた医療資源の組み合わせの必要についてお話いただきました。地域医療とは何か？患者さんが住み慣れた地域でどう暮らし、どう生きていくかを支える医療であると学生へ伝えていただきました。



第2部では、浅見長浜市長より開会のご挨拶、楠井院長より乾杯のご挨拶をいただきました。訪問先の関係者の方々や行政の方々にご参加いただき学生と交流をはかっていただきました。貴重な意見交換、懇談の場となりました。



引き続き、宿泊先のホテルに戻り、学生のみで交流会を開催しました。本学学生・滋賀県立大の学生がグループに分かれて交流しました。



【2日目】

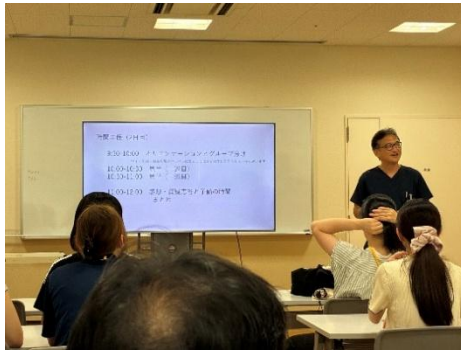
・長浜市立湖北病院にて研修

2日目の午前中も二班に分かれて研修を行いました。

納谷病院長に冒頭のご挨拶を頂戴し、透析センターと救急の現場を見学させていただきました。

透析センターでは、臨床工学技士の方から透析装置の仕組みや運用方法についての説明を受け、湖北地域の透析の拠点となっていることや、水がきれいな日本ならではの治療方法であることを学びました。

救急の現場では、納谷病院長が実際に患者さんと応対する姿を見学し、待合室や当直室の説明を受けるなど、湖北地域の救急の現状について学ぶことができました。



・浅井東診療所にて研修

もう一つの班は浅井東診療所にて研修を行いました。

浅井東診療所では、学生たちは事前に松井所長から提案された「診療見学実習コース」と「地域交流対談コース」のそれぞれのプランの中から選択し、研修させていただきました。

「診療見学実習コース」では、家庭医の外来見学や、訪問診療に同行させていただきました。「地域交流対談コース」では、松井所長のご実家へ訪問させていただき、お父様から地域の特徴などお話をいただきました。また、この地域から選出された長浜市議会議員 藤野秀峰氏と対談させていただき、理学療法士から議員になられた経緯などお話をいただきました。学生からの疑問や質問にも丁寧に回答いただき、楽しい雰囲気の中で対談を行うことが出来ました。

その後、それぞれが研修した内容について振り返りを行い、発表を行いました。訪問診療では医療に繋げる難しさや、外来見学での学びなど、先生方からアドバイスをいただきました。



- ・グループワーク

午後からは、2班に分かれて今回病院研修で学んだことについて、グループワークを行いました。
それぞれが研修を通して学んだことをグループ内で話し合い、バスの中で代表者が発表を行いました。



- ・地域散策

研修の最後は、長浜城を訪問しました。

戦国時代末期に豊臣秀吉が城主として過ごした長浜城は、江戸時代前期に廃城になり、遺構は彦根城や大通寺に移築され、安土桃山時代の城郭を模して「昭和新城」として復元されました。内部は歴史博物館として公開されており、戦国時代における長浜の重要性を実感することができました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、長浜市・湖北地域の方々の温かな人柄に触れ、今回の研修を通じて、地域医療に従事する学生が一人でも多く活躍してくれることを切に期待しています。

（この研修は、NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターとの協同で実施しました。）